

平成 16年 3月期 第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15年 8月 8日

上 場 会 社 名 酒井重工業株式会社

(コード番号：6358 東証第 1 部)

(URL <http://www.sakainet.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 酒井 一郎

問合せ先責任者 役職名 取締役管理部長 氏名 神戸 恒雄

(TEL：(03) 3434 - 3401)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無
 認識の方法との相違の有無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結(新規)1社

2. 平成16年 3月期第 1 四半期業績の概況(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

(1) 売上高

	売上高	
	百万円	%
16年 3月期第 1 四半期	2,697	-
15年 3月期第 1 四半期	-	-
(参考)15年 3月期	13,973	

(注) 1. 金額は百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 当第 1 四半期は四半期業績の概況開示の導入初年度のため、前年同四半期実績及び増減率は記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

1. 第 1 四半期における我が国建設機械業界は、建設投資縮小が続く大変厳しい事業環境の中、先行指標である油圧ショベルの国内需要が長年の需要縮小から反転基調に入り、道路建設機械についても底這いながら前年同等の需要水準に推移致しました。

国内向け販売は、主力のローラ販売がほぼ前年水準で推移致しました。道路維持機械につきましては、モデルチェンジに伴う生産調整の為、売上減少要因となりましたが、前回予想値に織り込んでおります。

海外では、インドネシア、中国を中心にアジア市場での販売が増収傾向に推移致しました。北米では全米的な天候不順から 4 月の販売に停滞が見られましたが、以後前年と同水準の売上げに推移致しました。

2. 当社事業は、道路建設という公共工事向け建設機械の為、工事が集中する中間期末や年度末に向けて出荷が集中する傾向が強く、例年第 1 四半期の売上げは低水準に留まる傾向にあります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成16年 3月期の連結業績予想(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中 間 期	7,500	200	110	-
通 期	14,500	390	220	5.17

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。